



熊本大地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます

グラウンドアンカーによる  
港湾施設の耐震補強

グラウンドアンカーによる  
法面・斜面の安定

# LOOK

## アンカー

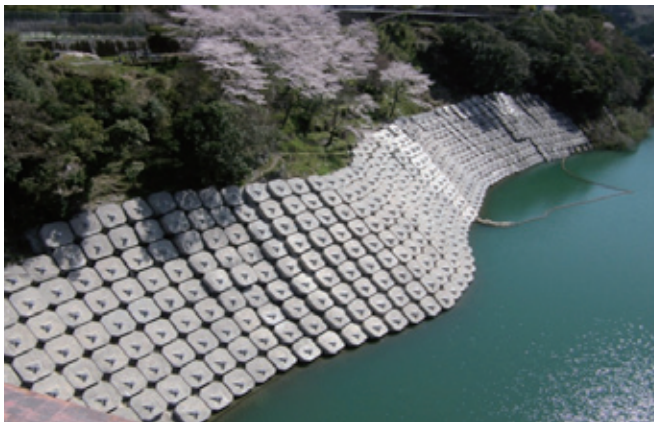
◎様々な場所で活躍するグラウンドアンカー工法	1
I. 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」の開催	2
(1) 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」の開催趣意	2
(2) 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」のプログラム	2
(3) 「グラウンドアンカー維持管理現場見学会」のプログラム	3
(参考資料) 国土の強靱化対策及び社会資本の老朽化対策	4
II. 協会の活動報告	7
(1) 会長インタビュー「技術者の維持管理能力アップ」	7
(2) 第18回定時総会(平成28年度開催)報告	8
(3) 平成27年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の受賞	9
(4) 平成27年度グラウンドアンカー施工士検定試験の実施	10
(5) 平成28年度グラウンドアンカー講習会・更新講習・検定試験の日程	11
III. 平成28年度版 日本アンカー協会出版物のお知らせ	12
IV. 連絡事項	15
公益目的支出計画の実施完了	15
協会ホームページ「会員専用ページ」のお知らせ	15
グラウンドアンカー施工士登録内容変更届	15
熊本大地震に係る災害応急対策	16
V. グラウンドアンカー施工士登録者名簿	17
VI. 一般社団法人日本アンカー協会 会員名簿	26

39

JUNE 2016

JAA JAPAN ANCHOR ASSOCIATION





写真① 受圧板とグラウンドアンカー



写真② のり枠工とグラウンドアンカー



写真③ 子安塔（清水寺）の直下斜面にて施工されたグラウンドアンカー工法



写真④ 子安塔（清水寺）直下の対策斜面



写真⑤ 施工完了後の子安塔（清水寺）斜面



# ◎様々な場所で活躍するグラウンドアンカー工法

## ○グラウンドアンカー工法の役割

グラウンドアンカー工法は、削孔した地盤にアンカー体を設置し、グラウト材を注入して地表の構造物と緊結させることで発生する引張力・摩擦抵抗力により、地盤や構造物の安定化、補強を図るものです。斜面やのり面の安定はもとより、構造物の浮き上がりや転倒の防止、耐震補強、土留めの支保工など、土木・建築分野で幅広く利用されています。

急峻で複雑な地形が多く、地震や豪雨などの自然災害による被害が大きくなる可能性が高い我が国において、グラウンドアンカー工法は必要不可欠な技術であり、国土強靱化、防災・減災、社会インフラの補修・補強による長寿命化など、社会全体の喫緊の課題に対応する技術であります。

## ○グラウンドアンカー工法の適用分野

グラウンドアンカー工法は、河川、砂防、ダム、道路、建築、港湾など、様々な分野で適用されています。我々が生活の中でグラウンドアンカーを目にする機会も多く、河川護岸やダム湖岸などの地すべり対策で受圧板と併用しているもの（写真①）、道路脇斜面などでコンクリートのり砕工と併用しているもの（写真②）など、身近にも多くの適用事例があります。

一方、グラウンドアンカーの一部または全部が被覆され、一見それとは見えないものの、実はグラウンドアンカーが施工されているという事例もあります。施工後水没するのり面に適用されるグラウンドアンカーの頭部をコンクリートやモルタル等で被覆したり、風致地区や景勝地など、環境や景観への配慮が必要な場所に適用されるグラウンドアンカーの頭部や受圧板、のり砕工等が見えないように全面を被覆するなど、施工場所やその周辺環境により、様々な工夫がなされています。特に、文化財や史跡などで適用する場合においては、コンクリート構造物などの人工構造物が目立たないよう配慮を求められることも多くあります。

こうした環境や景観に配慮した現場のうち、受圧板と組み合わせたグラウンドアンカー工の施工箇所全面をのり面保護工で被覆した事例を紹介します。

## ○清水寺における斜面崩壊対策事例

平成25年9月に発生した台風18号による集中豪雨により、清水寺境内の数か所の斜面で土砂崩れが発生しました。

清水寺境内では、平成11年にも記録的な豪雨による土砂崩れが発生し、復旧工事が行われています。その際、世界文化遺産であり国宝である清水寺では、自然環境への配慮、景観保全の観点を重要視し、対策工法が選定されており、今回の復旧工事においても同様の考えの下、対策工法が検討されました。

今回の崩壊箇所のひとつである子安塔の直下の斜面（写真④）では、グラウンドアンカー工法をのり面保護工（連続繊維補強土工）で被覆するという対策方法が選定されました。グラウンドアンカー（ダブルアンカー）は、受圧板（FFU受圧板）と組合せ、斜面の安定化を図っています（写真③）。さらに、緑豊かな周辺環境との調和を図り、良好な景観が保てるよう、グラウンドアンカー頭部と受圧板をのり面保護工で被覆しています。のり面保護工として採用されたのは、砂質土と連続繊維を混合して吹付ける連続繊維補強土工と表面に施す植生工を組合せた、環境に優しいのり面保護工です。

現在、植物は順調に生長し、緑の斜面と子安塔の美しい景観が、多くの観光客の目を楽しませています（写真⑤）。

# I. 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」の開催

## (1) 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」の開催趣意

我が国は、急峻な地形が多いことから、様々な用途にグラウンドアンカーが用いられてきました。我が国のグラウンドアンカーの本格的な設置は1957年からであり、特に昭和63年に地盤工学会により「グラウンドアンカー設計・施工基準」が制定されてからは、急速に設置箇所が増加しました。

グラウンドアンカーによる斜面安定工法は、自然斜面の崩壊を剛な構造によって抑止するのではなく、打設されたアンカーの発揮する緊張力によって安定性を向上させるとともに、斜面の変形に柔軟に追従しながら効果を発揮する工法です。また単独ではなく多数のアンカーが群として作用するという特徴を有しています。

急峻な地形であることに加え、豪雨、融雪水、さらには地震などの影響を絶えず受ける過酷な条件下に設置されており、グラウンドアンカーにとって劣化は大きな課題であり、険しい地形で点検等が容易ではないこと、構成部材の多くは地中に設置されており、直接の点検が容易ではないこと、一つの斜面に多数のアンカーが打設されているといった物理的な困難に加え、個々のアンカーの変形と斜面全体の安定性の関係性に不明確な部分が多いことなど、技術的にも維持管理の難易度が高い構造物です。

さらに、グラウンドアンカーはメンテナンスサイクルの充実による効率的な維持管理の必要性が、特に高い構造物であると言えます。

我が国は、グラウンドアンカーの維持管理に関して世界に先がけて、マニュアルの整備等を行っており、土木研究所と日本アンカー協会が共同で作成した「グラウンドアンカー維持管理マニュアル」は、世界的にも高い評価を得ています。特に地質的、気候的に類似したアジアモンスーン気候の国々にとっては、グラウンドアンカーの維持管理技術は高いニーズがあると考えます。

平成25年7月に東京で第1回のシンポジウムを開催し、今回、福岡で第2回の「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」を開催いたしました。シンポジウムでは5人の講師から、グラウンドアンカーのメンテナンスサイクルにおけるさまざまな観点からグラウンドアンカー維持管理の現状と課題を報告していただきました。

また、「グラウンドアンカー維持管理現場見学会」では、福岡県国道201号線沿いのり面に設置されたグラウンドアンカーの詳細調査（リフトオフ試験等）を見学・体験していただきました。

## (2) 「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」のプログラム

会議：「グラウンドアンカー維持管理に関するシンポジウム（第2回）」

主催：（国研）土木研究所

共催：（一社）日本アンカー協会、（一社）全国地質調査業協会連合会、（株）高速道路総合技術研究所、（同）アンカーアセットマネジメント研究会

後援：国土交通省九州地方整備局

日時：平成28年1月26日（火）10：30～16：40

会場：福岡県中小企業振興センター 2階 大ホール

参加者：グラウンドアンカーの設計・施工・維持管理に携わる技術者等を一般公募（162名）

時間	発表論文名	発表者
10：00	開場	
10：30～10：40	開会挨拶	（国研）土木研究所 グループ長 小橋 秀俊
10：40～11：25	「アンカーに求められる維持管理の最近の話題」 ・道路土工構造物技術基準の制定 ・今後のメンテナンスサイクルの確立に向けた課題	（国研）土木研究所 上席研究員 宮武 裕昭
11：25～12：10	「アンカーの健全性調査及び対策の事例」 ・頭部詳細調査及び頭部背面調査 ・リフトオフ試験及び維持性能確認試験、補修工	（一社）日本アンカー協会 技術委員 末吉 達郎
12：10～12：30	質疑応答	
12：30～13：30	休憩	
13：30～14：15	「高速道路のアンカーの維持管理の状況」 ・グラウンドアンカーの荷重管理における現状と課題 ・グラウンドアンカーの老朽化対策	（株）高速道路総合技術研究所 主任研究員 藤原 優
14：15～15：00	「アンカーの健全性調査の現況と課題」 ・アンカー残存緊張力の計測方法 ・アンカー健全度調査	（一社）全国地質調査業協会連合会 高梨 俊行
15：00～15：20	質疑応答	
15：20～15：35	休憩	
15：35～16：20	「アンカーの維持管理におけるリフトオフ試験の活用」 ・アンカー維持管理上の問題点 ・S A Mシステムによるアンカー健全性調査	（同）アンカーアセットマネジメント研究会 三重大学教授 酒井 俊典
16：20～16：30	質疑応答	
16：30～16：40	閉会挨拶	（一社）日本アンカー協会 九州支部長 工藤 清秋

### (3) 「グラウンドアンカー維持管理現場見学会」のプログラム

会 議：「グラウンドアンカー維持管理現場見学会」  
 主 催：(国研)土木研究所  
 共 催：(一社)日本アンカー協会, (一社)全国地質調査業協会連合会, (株)高速道路総合技術研究所, (同)アンカーアセットマネジメント研究会  
 後 援：国土交通省九州地方整備局

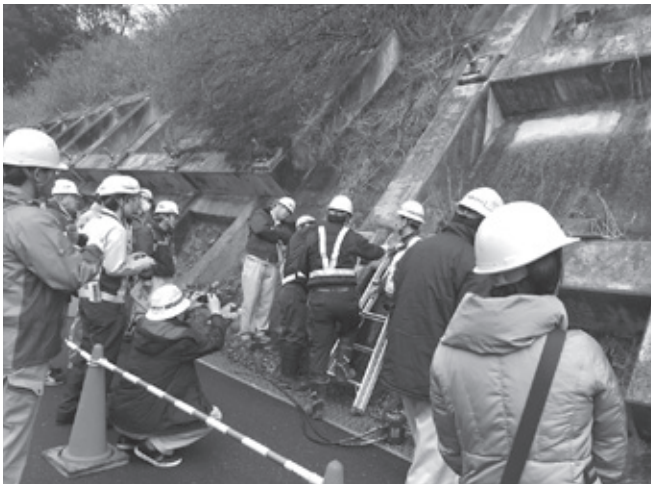
日 時：平成 28 年 1 月 27 日 (水) 9:30~15:00  
 会 場：福岡県粕屋郡篠栗町津波黒 (国道 201 号線沿い側道)  
 ・JR九州 篠栗線(福北ゆたか線)篠栗駅出口前集合  
 参加者：グラウンドアンカーの設計・施工・維持管理に携わる技術者等を一般公募 (70 名)

時 間	見 学 ・ 体 験
9:30	集 合
9:30~9:45	現場移動
9:45~10:00	現場説明
10:00~12:00	アンカー頭部詳細調査, リフトオフ試験, 及び後付け荷重計の設置 (Aki-Mos・SAAM-L) (旧タイプアンカー及び新タイプアンカー)
12:00~13:00	休 憩
13:00~15:00	アンカー頭部詳細調査, リフトオフ試験, 及び後付け荷重計の設置 (Aki-Mos・SAAM-L) (旧タイプアンカー及び新タイプアンカー)
15:00	現地解散

#### ●「グラウンドアンカー維持管理シンポジウム」の開催状況



#### ●「グラウンドアンカー維持管理現場見学会」の開催状況





## (参考資料) 国土の強靱化対策及び社会資本の老朽化対策

### 1) 国土の強靱化対策（ナショナル・レジリエンス）の推進

平成23年3月に発生した「東日本大震災」を受け、南海トラフ地震及び首都直下地震への対策を推進するため、国土強靱化への取組みが進められています。

平成25年11月には、「南海トラフ地震対策特措法（東南海・南海地震対策特別措置法の一部改正）」及び「首都直下地震

対策特措法」が参院本会議で可決・成立しました。さらに、平成25年12月には、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱（きょうじん）化基本法」が参院本会議で可決・成立しました。

#### ○過去の大震災と内閣府の被害想定

大震災	マグニチュード	死者等・行方不明者	全焼・全壊	直接の被害額
関東大震災（1923年9月）	M 7.9	10万5000人	29万3000棟	55億円（当時）(GNP比37%)
阪神大震災（1995年1月）	M 7.3	6437人	11万2000棟	9兆6000億円（GDP比2%）
東日本大震災（2011年3月）	M 9.0	1万8526人	12万7000棟	16兆9000億円（GDP比4%）
首都直下地震（想定：都心南部直下）	M 7.3	2万3000人	61万棟	47兆4000億円（GDP比10%）※二次被害を含むと95兆3000億円（GDP比20%）
首都直下地震（想定：関東大震災級）	M 8.2	7万人	133万棟	90兆円（GDP比19%）※二次被害を含むと160兆円（GDP比34%）
南海トラフ巨大地震（想定）	M 9.1	32万3000人	238万6000棟	169兆5000億円（GDP比36%）※二次被害を含むと220兆3000億円（GDP比47%）

### 2) 国土交通省インフラ長寿命化計画の策定

我が国では、昭和39年の東京オリンピック以降に整備された首都高速1号線等、高度成長期以降に整備したインフラが今後一斉に老朽化し、今後20年間で、建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなる見込みです。例えば、道路橋は、その割合が平成25年3月の約18%から、10年後には約43%、20年後には約67%と急増します。このように一斉に老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められています。

このため、国土交通省では、25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付け、国土交通省を挙げて老朽化対策に取り組むための体制として、同年1月国土交通大臣を議長とする「社会資本の老朽化対策会議」を設置し、総合的・横断的に検討を進め、同年3月には、「社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置」を工程表として取りまとめました。

また、同年10月には、「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が設置され、同年11月、政府、地方公共団体等における、あらゆるインフラを対象にした今後の取組みの全体像を示すものとして、「インフラ長寿命化基本計

画」が決定されました。この基本計画では、全国のあらゆるインフラについて、着実に老朽化対策を実施するため、各インフラの管理者等がインフラ長寿命計画（行動計画）を作成することが規定されました。

これを受けて、国土交通省では、全府省庁に先駆けて、26年5月、「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を決定し、基本計画に基づく具体的な取組みを確定・見える化し、メンテナンスの指針として、メンテナンスサイクルの構築に向けた道筋を提示しました。

具体的には、①定期的な点検を行い、必要な修繕・更新を実施するとともに、その情報をカルテとしてデータベース化し、メンテナンスサイクルを構築する、②メンテナンス技術によるコスト縮減と予防保全の考え方に基づく長寿命化を戦略的に進めることで、今後のメンテナンスに係る対策費用の山を平準化する、③インフラの大部分を管理する地方公共団体等の取組みを進めるため、防災・安全交付金による財政的支援や基準・マニュアルの提示等の技術的支援を実施する、が挙げられています。

#### ○社会資本の老朽化の現状

《建設後50年以上経過する社会資本の割合》	H 25年3月	H 35年3月	H 45年3月
道路橋〔約40万橋〕	約18%	約43%	約67%
トンネル〔約1万本〕	約20%	約34%	約50%
河川管理施設（水門等）〔約1万施設〕	約25%	約43%	約64%
下水道管きょ〔約45万km〕	約2%	約9%	約24%
港湾岸壁〔約5千施設〕	約8%	約32%	約58%

### 3) 社会資本のメンテナンスの推進

社会資本整備審議会・交通政策審議会の下に24年7月に設置された「社会資本メンテナンス戦略小委員会」においては、今後の戦略的な維持管理・更新に向け、国土交通省・地方公共団体等が重点的に講ずべき施策や、維持管理・更新費の将来推計等について調査・審議が行われました。

25年12月には、「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の答申が取りまとめられた。答申では、①点検・診断に関する資格制度の確立、②維持管理を円滑に行うための体制、地方公共団体等の支援方策、③維持管理・更新に係る情報の共有化・見える化、が課題とされました。

現在、国土交通省が所管する社会資本のうち、道路、河川、

港湾等の一部施設分野においては、平成25～26年度にかけて政令や省令等による定期点検の義務化が行われ、新たな基準にもとづく点検が開始されています。

#### ○各分野の点検実施状況

点検サイクル	施設分野
5年に1度	橋梁, トンネル, 港湾施設
3年に1度	公営住宅, 庁舎
毎年	河川堤防, ダム, 砂防, 公園(遊具)
その他	海岸堤防, 航路標識, 下水管路施設, 空港, 鉄道

### 4) 道路インフラの総点検及び定期点検

平成25年2月に、国土交通省は各道路管理者に、道路構造物を総点検する際の実施要領(案)をまとめ、通知している。

#### ○道路インフラ総点検実施要領(案)の概要

点検対象	点検内容
橋梁	橋梁下の部材及び路面より上の附属施設を近接目視等により点検
トンネル	トンネルの覆工, 坑門工, 附属施設等を近接目視, 打音, 触診により点検
舗装	路面のひび割れ, わだち掘れ, 縦断凸凹を目視により点検
道路附属物	道路附属物(標識, 照明, 情報提供装置, 横断歩道協)を目視等により点検
道路のり面工 土工構造物	道路のり面(グラウンドアンカー工含む)・土工構造物について、第三者被害につながる可能性が顕在化している人工構造物の顕著な老朽化, 劣化, 変状等を目視, 打音, 触診により点検

平成26年7月に施行された省令・告示で、5年に1回、近接目視を基本とする点検を規定し、健全性の診断結果を4つに区分している。さらに、市町村における円滑な点検の実施

のため、点検方法を具体的に示し、主な変状の着目箇所、判定事例写真等を加えたものを定期点検要領として取りまとめている。

#### ○道路インフラ定期点検の概要

道路法, 政令 (平成25年9月施行)	・維持, 点検, 措置を講じることを規定
省令・告示 (平成26年3月告示) (平成26年7月施行)	・トンネル, 橋その他道路を構成する施設若しくは工作物又は道路の附属物のうち、損傷, 腐食その他の劣化その他の異常が生じた場合に道路の構造又は交通に大きな支障を及ぼすおそれのあるものについて定期点検を規定 ・5年に1回, 近接目視を基本として実施 ・健全性の診断結果を, 4段階に区分
定期点検要領 (平成26年6月策定)	・構造物の特性に応じ省令・告示に沿った具体的な点検方法 ・主な変状の着目箇所, 判定事例写真等

### 5) 道路土工構造物技術基準の制定

平成27年3月の社会資本整備審議会道路分科会道路技術小委員会における審議を踏まえて、27年3月に「道路土工構造物技術基準」が新たに制定されました。

グラウンドアンカーは「土工」に含まれており、点検に関する基準については、今後見直しが進められる予定です。

#### (参考)道路インフラの新設・改築及び点検に関する基準

	新設・改築に関する基準	点検に関する基準
橋梁	・橋, 高架の道路等の技術基準【H24】	・定期点検要領【H26】
トンネル	・道路トンネル技術基準【H01】 ・道路トンネル非常用施設設置基準【S56】	・定期点検要領【H26】
舗装	・舗装の構造に関する技術基準【H13】 ・電線等の埋設物に関する設置基準【H11】	・舗装の調査要領(案)【H25】を使用 ⇒見直しに向け, H27年度より検討着手
土工	・道路土工構造物技術基準【H26 新規制定】 《従来, 日本道路協会図書を準用》	・定期点検要領(シェッド・カルバート)【H26】 ・道路のり面工・土工構造物の調査要領(案)【H25】を使用 ⇒見直しに向け, H27年度より検討着手
附属物等	・立体横断施設技術基準【S53】 ・道路標識設置基準【H26】 ・道路照明施設設置基準【H19】 ・道路緑化技術基準【H26】	・定期点検要領(立体横断施設・門型標識)【H26】 ・附属物(標識, 照明施設等)点検要領【H26】を使用 ⇒見直しに向け, H27年度より検討着手 (提言を踏まえ, 更新の考え導入等)

**グラウンドアンカー維持管理に関するシンポジウム(第2回)**

## グラウンドアンカー維持管理の 現状と課題

主催：(国研)土木研究所  
共催：(一社)日本アンカー協会、(一社)全国地質調査業協会連合会  
(株)高速道路総合技術研究所、(同)アンカーアセットマネジメント研究会  
後援：国土交通省九州地方整備局

グラウンドアンカー維持管理に関するシンポジウム(第2回)について、下記の通り開催いたしますのでお知らせします。(※地盤工学会CPD登録手続き中)

【日時】  
平成28年1月26日(火) 10:30~16:40

【会場】  
福岡県中小企業振興センター2階 大ホール  
福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15  
TEL:092-622-0011 (JR吉塚駅下車東出口すぐ)

【参加費】 無料(※参加証が必要)

【申込】 一般社団法人日本アンカー協会 事務局  
FAX(03(5214)1169)にてお申し込みください(参加申込書は日本アンカー協会HPに掲載)  
1月13日(水)までにお申し込みください

【プログラム】

10:00	開場
10:30-10:40	開会挨拶
10:40-11:25	アンカーに求められる維持管理の最近の話題
11:25-12:10	アンカーの健全性調査及び対策の事例
12:10-12:30	質疑応答
12:30-13:30	<休憩>
13:30-14:15	高速道路のアンカーの維持管理の状況
14:15-15:00	アンカーの健全性調査の現況と課題
15:00-15:20	質疑応答
15:20-15:35	<休憩>
15:35-16:20	アンカーの維持管理におけるリフトオフ試験の活用
16:20-16:30	質疑応答
16:30-16:40	閉会挨拶

【問い合わせ先】  
一般社団法人日本アンカー協会 事務局 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目9番12号 弥栄ビル5F  
TEL:03(5214)1168 FAX:03(5214)1169




## グラウンドアンカー維持管理 現場見学会

主催：(国研)土木研究所  
共催：(一社)日本アンカー協会、(一社)全国地質調査業協会連合会  
(株)高速道路総合技術研究所、(同)アンカーアセットマネジメント研究会  
後援：国土交通省九州地方整備局

グラウンドアンカー維持管理現場見学会について、下記の通り開催いたしますのでお知らせします。

【日時】  
平成28年1月27日(水) 9:30~15:00

【集合】  
JR九州 篠栗線(福北ゆたか線) 篠栗駅出口前 9:30集合  
当日連絡先TEL:090-4809-0270(担当 横山)  
※乗用車でのご来場はご遠慮願います。

【参加費】 無料(※参加証が必要)

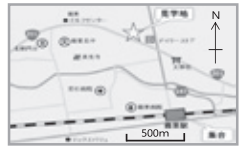

【申込】 一般社団法人日本アンカー協会 事務局  
FAX(03(5214)1169)にてお申し込みください(締切:12月31日(木)定員50名)  
※参加対象は前日のグラウンドアンカー維持管理に関するシンポジウム参加者となります。  
応募者多数の場合は抽選とし、抽選結果のご連絡は1月8日頃にお知らせ致します。

【内容】  
福岡県国道201号線沿いのり面に設置されたグラウンドアンカーの詳細調査(リフトオフ試験等)を見学・体験する。

(予定)

9:30	集合
9:30-9:45	現場移動
9:45-10:00	現場説明
10:00-15:00	アンカー頭部詳細調査及びリフトオフ試験、 後付け荷重計の設置(Aki-Mos・SAAM-L) (旧タイプアンカー及び新タイプアンカー)
(12:00-13:00)	<休憩>
15:00	現地解散

【問い合わせ先】  
一般社団法人日本アンカー協会 事務局 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目9番12号 弥栄ビル5F  
TEL:03(5214)1168 FAX:03(5214)1169



# 技術者の維持管理能力アップ推進



一般社団法人日本アンカー協会

会長 中原 巖氏

(日本基礎技術㈱代表取締役社長)

インタビュー

## 施工プロセスの標準化進め、生産性向上目指す

### ■グラウンドアンカー新設工事の需要をどう分析しますか■

「2014年度の会員企業の施工実績は、件数は約1300件、延長は約1000kmでした。過去5年間は概ね横ばいですが、近年はゲリラ的な自然災害の多発に伴って危険箇所グラウンドアンカーを設置する工事が増えていますし、護岸の耐震補強工事への導入実績も徐々に伸びていますので、今後は新たな需要の伸びを期待しています」

### ■維持管理工事の需要はどう見えていますか■

「2014年度の会員企業の実績を見ると、件数が9件、延長が8kmでした。新設と比較するとまだまだ少ない数値ですが、その一方で、点検調査は約1300本に上っており、いずれは国内にある延長約3万km以上のグラウンドアンカーの老朽化対策に着手しなければなりません。徐々に、維持管理工事の発注量が増えるの見込んでいます」

「協会は、技術者の維持管理技術の普及とレベルアップを目的に、13年度に続き第2回の『グラウンドアンカー維持管理に関するシンポジウム』を今年1月26日に福岡市で開催しました。当日は、約162人が参加してグラウンドアンカーの維持管理の現状や課題について意見交換を行いました。技術資料の作成にも力を入れ、『グラウンドアンカー維持管理マニュアル』を最新技術を掲載した内容に改訂することを検討しています」

### ■国土交通省が現場の生産性アップを目指して導入を推進する『i-Construction』にはどう対応しますか■

「グラウンドアンカーは、技術者が施工箇所の地盤や土質の状態、当日の天候などを勘案しなければ効果を発揮できません。すべての作業にICT技術を持ち込むのは難しいと思っています。ただ、生産性の向上は取り組まなければならない最重要課題であると認識しています。そのためにも、使用部材と設計・施工・試験プロセスの標準化を進めます。標準化が進めば、作業効率の改善と品質の均一化を実現できます。方法については、定期的に改訂する『グラウンドアンカー積算ガイドブック』や『グラウンドアンカー技術ガイドブック』、講習会などを通じて周知させます」

「グラウンドアンカーは、施工後のすべてのアンカーについて性能確認の試験を行うことが義務付けられており、アン

カー施工の良否を判定するための『グラウンドアンカー試験管理ソフト』の普及促進にも努めています。試験結果のフォーマットの統一により、試験から判定までのプロセスの標準化が図られ、品質確認も容易になります。今後も関連技術の標準化と普及を行っていきます。それがコストダウン、工期短縮、技術向上、品質確保の実現への重要な入り口と考えています」

「作業効率を高めることは、若手入職者の確保にもつながります。生産性が上がれば、企業の利益率が高まり、技術者の賃金がアップします。作業時間も短縮できるので、技術者の休日も増加するでしょう。そうなれば、グラウンドアンカー業界は魅力的な業種だと世間に認知され、若年層の入職増加に期待を持てます。また、引き続き私たちは、その時点で、人の汗と気概でしか成し得ないことへの価値とそれに携わる人への認識と評価が上がるようアピールを行っていきます」

### ■若年層を確保するためには、業界の存在を各方面にアピールすることも必要です■

「業界の知名度を高めていくために、建設フェスタなどのイベントへの出展を加速させ、未就学児や小学生たちへの認知度を上げていく構えです。協会は、国土交通省が毎年7月に開催する『子ども霞ヶ関見学デー』に14年度から参加しています。15年度は『よくわかる！アンカー工の仕組み』をキャッチフレーズに掲げて、グラウンドアンカーの体験模型の実演と実物模型を展示しました。これからも心に響く工夫をしていきます」

### ■若い技術者への期待・メッセージを■

「オンリーワンを目指して頑張ってもらいたいです。誰でもすぐにでもできるオンリーワンへの近道は、人がやりたがらない仕事を率先して引き受けて、きちんとやり遂げることです。この分野はほかの工種と比べて力仕事が多く、大変な思いをするかも知れませんが、苦勞することで得られるものは沢山あります。ぜひ、実践して欲しいと思います。私たち自身も『苦勞は買ってでもする』『意気に感じる』等の言葉が死語にならないよう、また若い技術者が行動しやすくなるよう、さらなる努力を重ねていきます」

【日刊建設工業新聞 平成28年4月22日】

# II. 協会の活動報告

## (2) 第18回定時総会（平成28年度開催）報告

第18回定時総会は、平成28年6月1日（水）に東京都文京区の東京ドームホテル地下1階「シンシア」において、正会員138名のうち、128名が出席して開催されました。

総会は、午後4時30分に開会され、中原会長を議長として議案審議に移りました。

議案は次のとおりです。

### ・第1号議案 平成27年度決算報告の件

議長は、平成27年度（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）における事業状況を、下記の書類を提出して詳細に説明報告し、その審議承認を求めた。

1. 貸借対照表、2. 損益計算書（正味財産増減計算書）、3. 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

ついで監事を代表して監事 稲村利男は上記の書類につき綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

本定時総会は、別段の異議なくこれを可決確定した。

### ・第2号議案 定款の変更の件

議長は、代表理事及び業務執行理事に関する定款の変更案について説明報告し、その審議承認を求めた。

本定時総会は、別段の異議なくこれを可決確定した。

### ・第3号議案 役員を選任の件

議長は、理事である横田弘一が席上、本定時総会終結をもって、辞任する旨を申し出ているので、その後任の理事1名を前任者の補欠として選任したい旨を述べ、その選任方法を総会に諮ったところ、出席社員中よりその指名を議長に一任したいとの発言があり、全員異議なくこれに賛成した。

議長は、下記の者を指名し、その賛否を議場に諮ったところ、全員一致をもってこれに賛成したので、下記のとおり可決確定した。

### ・報告事項1 平成27年度事業報告の件

議長は、平成27年度（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）における事業報告の内容について報告した。

### ・報告事項2 平成28年度事業計画の件

議長は、平成28年度（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）

における事業計画の内容について報告した。

### ・報告事項3 平成28年度取支予算の件

議長は、平成28年度（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）における取支予算の内容について報告した。

### ・報告事項4 公益目的支出計画の実施完了の件

議長は、公益目的支出計画の実績及び実施完了の内容について報告した。

以上をもって本定時総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後5時30分散会しました。



### ◎一般社団法人日本アンカー協会 役員名簿

平成28年6月1日選任

役職	氏名	職 業
会 長	中原 巖	日本基礎技術株式会社 代表取締役社長
副 会 長	海野 隆哉	長岡技術科学大学 名誉教授
副 会 長	草深 守人	法政大学 名誉教授
常務理事	山崎 淳一	三信建設工業株式会社 取締役執行役員
常務理事	松田 浩樹	ライト工業株式会社 執行役員（新任）
常務理事	山田 浩	日特建設株式会社 取締役常務執行役員
理 事	遠藤 堅一	成和リニューアルワークス株式会社 常務執行役員
理 事	川瀬 勝久	東興ジオテック株式会社 代表取締役社長
理 事	清宮 理	早稲田大学 教授
理 事	小牧 正行	ケミカルグラウト株式会社 専務取締役
理 事	中野 正則	一般財団法人土木研究センター 専務理事
理 事	平井 久嗣	神鋼鋼線工業株式会社 取締役
理 事	弘中 隆義	日鉄住金SGワイヤ株式会社 建材販売部長
理 事	前原 弘光	青山機工株式会社 代表取締役社長
専務理事	武山 光成	事務局長（元 東京国道工事事務所長）
監 事	稲村 利男	東洋テクノ株式会社 常勤監査役
監 事	坂巻 毅	構造工事株式会社 代表取締役社長
監 事	山口 和男	住友電工スチールワイヤー株式会社 PC営業部長

役員18名（理事15名、監事3名） 任期：平成27年6月3日から平成29年度定時総会の終結の時まで



### (3) 平成27年度優秀施工者国土交通大臣顕彰の受賞

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、これらの方々と広く国民に知っていただき、その社会的地位・評価の向上を図っていくことを目的として、現場での施工経験20年以上で、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々とを対象として、「優秀施工者国土交通大臣顕彰」(建設マスター)を実施しています。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設マスターに達するまでの技術・技能の向上を図ることを目的として、39歳以下現場経験10年以上で、優秀な技術・技能を持ち、今後さらなる活躍が期待される青年技能者の方々とを対象として、今年度より新たに「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰」(建設ジュニアマスター)を設けています。

平成27年度の顕彰式典が平成27年10月9日(金)に東

京港区のメルパルクホールで開催され、建設マスターの受賞者および建設ジュニアマスターの受賞者に顕彰が授与されました。

建設マスターは平成4年度より実施されており、第24回目となる平成27年度は406名が顕彰され、これにより建設マスター総数は合計8,819名となりました。また、今年度より新設された建設ジュニアマスターとして110名が顕彰されました。

なお、女性技能者については、建設マスターで9名、建設ジュニアマスターで4名が被顕彰者となっています。

式典の冒頭、石井国土交通大臣は「建設業は人の技術や技能によって支えられている。受賞者は、物づくりと人づくりの名人と呼ぶにふさわしい。」と受賞者をたたえました。

平成27年度の顕彰者のうち、日本アンカー協会から推薦したアンカー工4名が受賞しました。

#### ◎平成27年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」 (建設マスター) 受賞者

(敬称略)

氏名	性別	年齢	職種	勤務先
近藤 正次	男	43	アンカー工	ライト工業(株)
高橋 弘一	男	46	アンカー工	ライト工業(株)
中道 政志	男	41	アンカー工	ライト工業(株)

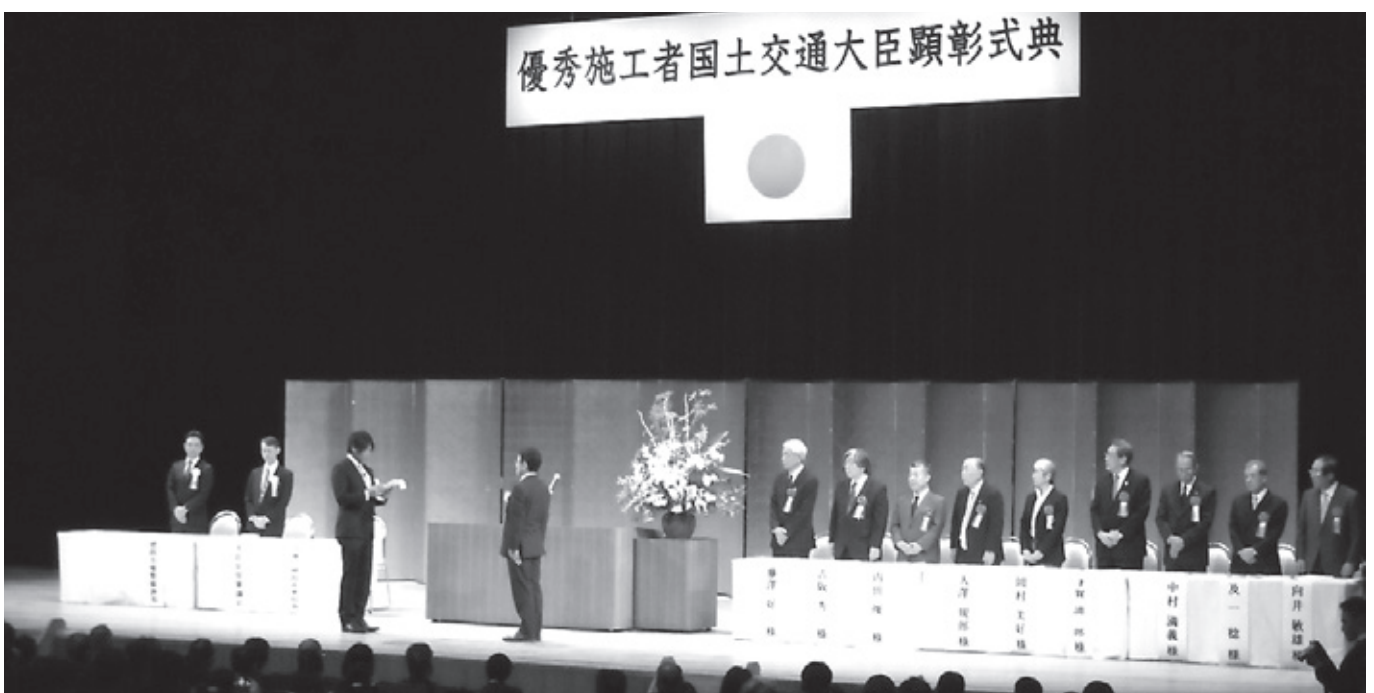
#### ◎平成27年度「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰」 (建設ジュニアマスター) 受賞者

(敬称略)

氏名	性別	年齢	職種	勤務先
中野 高志	男	39	アンカー工	ライト工業(株)



顕彰受賞者



平成27年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典

#### (4) 平成27年度グラウンドアンカー施工士検定試験の実施

グラウンドアンカー施工士検定試験は、建設工事において極めて重要な専門分野であるグラウンドアンカー工事に従事する技術者を対象として、調査・設計・施工を円滑かつ安全に行うために必要な知識と技術の向上を図り、工法の信頼性を高めることを目的としています。

平成27年度のグラウンドアンカー施工士検定試験は、平成27年10月17日（土）13:00～15:00に全国9会場において開催しました。検定試験の申込者は316名、出席者は287名（出席率90.8%）でした。

平成27年度グラウンドアンカー施工士検定試験の合格者139名（合格率48.4%）の発表については、11月30日（月）に行いました。

#### ○平成27年度グラウンドアンカー施工士検定試験(13:00～15:00)

地 区	月 日 (平成27年)	会 場
札 幌	10月17日(土)	北海道建設会館
仙 台	10月17日(土)	TKP 仙台カンファレンスセンター
東 京	10月17日(土)	TKP 東京駅大手町カンファレンスセンター
新 潟	10月17日(土)	新潟駅前カルチャーセンター
名古屋	10月17日(土)	安保ホール
大 阪	10月17日(土)	天満研修センター
広 島	10月17日(土)	広島 YMCA 国際文化センター
高 松	10月17日(土)	高松テルサ
福 岡	10月17日(土)	電気ビル本館

#### (参考) グラウンドアンカー施工士検定試験の受験者、合格者及び登録者

(平成28年4月1日現在)

年 度	受験者数	合格者数	合格率	登録者数	登録率
平成7年度(第1回)	538	244	45.4	118	48.4
平成8年度(第2回)	607	214	35.3	137	64.0
平成9年度(第3回)	687	184	26.8	121	65.8
平成10年度(第4回)	955	337	35.3	220	65.3
平成11年度(第5回)	643	225	35.0	142	63.1
平成12年度(第6回)	616	226	36.7	123	54.4
平成13年度(第7回)	625	218	34.9	155	71.1
平成14年度(第8回)	727	249	34.3	188	75.5
平成15年度(第9回)	789	333	42.2	240	72.1
平成16年度(第10回)	710	325	45.8	233	71.7
平成17年度(第11回)	623	217	34.8	152	70.0
平成18年度(第12回)	631	247	39.1	208	84.2
平成19年度(第13回)	455	147	32.3	132	89.8
平成20年度(第14回)	324	125	38.6	109	87.2
平成21年度(第15回)	315	91	28.9	77	84.6
平成22年度(第16回)	334	150	44.9	133	88.7
平成23年度(第17回)	324	144	44.4	144	100.0
平成24年度(第18回)	306	97	31.7	97	100.0
平成25年度(第19回)	278	102	36.7	102	100.0
平成26年度(第20回)	316	143	45.3	143	100.0
平成27年度(第21回)	287	139	48.4	139	100.0
合 計	11,090名	4,157名	37.5%	3,113名	74.9%



## (5) 平成28年度グラウンドアンカー講習会・更新講習・検定試験の日程

平成28年度のグラウンドアンカー講習会・更新講習・検定試験の日程が決まりましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、今後、順次ホームページに掲載いたします。

### ■制度の概要

「グラウンドアンカー施工士」検定試験は、建設工事において極めて重要な専門分野であるグラウンドアンカー工事に従事する技術者を対象として、調査・設計・施工を円滑かつ安全に行うために必要な知識と技術の向上を図り、工法の信頼性を高めることを目的としています。

### ■取得のメリット

検定試験に合格し、「グラウンドアンカー施工士」の登録を行った者に対し認定証を交付します。登録された資格者は、アンカー技術の専門管理技術者として評価されるとともに、資格者の存否を入札要件や技術評価に反映させることが増加しており、今後その活用が見込まれています。

### ■検定試験日程

- ・平成28年10月15日(土) 午後1時から午後3時まで
- ・受験地:札幌, 仙台, 東京, 新潟, 名古屋, 大阪, 広島, 高松, 福岡

### ■講習会日程

グラウンドアンカー施工技術の基本事項をわかりやすく学ぶ機会として、講習会が開催されており、検定試験の受験者の多くが受講しています。

- ・平成28年9月3日(土) 札幌・新潟・広島
- ・平成28年9月10日(土) 仙台・名古屋・高松
- ・平成28年9月17日(土) 東京・大阪・福岡

### ■更新講習日程

グラウンドアンカー施工士認定証の有効期間は5年となっており、有効期間内に更新講習を受講することにより、認定証を更新することができます。

- ・平成28年9月3日(土) 札幌・新潟・広島
- ・平成28年9月10日(土) 仙台・名古屋・高松
- ・平成28年9月17日(土) 東京・大阪・福岡

### ■資格者数の累計

- ・受験者数 11,090人
- ・合格者数 4,157人(合格率37.5%)

### ○平成27年度グラウンドアンカー施工士検定試験 合格者(139名)

受験番号	氏名	受験番号	氏名	受験番号	氏名	受験番号	氏名	受験番号	氏名	受験番号	氏名
1001	池田 淳	3023	福井 鉄平	5030	正木 孝広	7004	岡邊 賢二	9015	大重 英隆	9071	原田 健司
1003	木元 宏志	3026	保坂 卓里	5031	峯 清志	7009	門脇 和人	9020	尾崎 康顕	9072	原田 秀作
1005	中西 政人	3028	堀谷 秀則	5032	望月 敦人	7010	佐々木 貴昌	9022	甲斐 太佳己	9074	福田 崇成
1006	湯川 文哉	3029	松平 拓人	5035	森口 浩二郎	7016	野村 修太	9023	梶 洋輔	9077	前川 敏士
2002	榎 康道	3031	丸山 弘志	6001	秋山 秀二	7017	原田 博	9024	加藤 伸一	9087	安山 和宏
2003	小笠原和臣	4004	越田 宗克	6003	新井 義知	7018	福田 一彦	9025	門口 朋成	9092	山田 達矢
2005	小野 勝弘	4006	木挽 伸治	6005	内田 歳巳	7020	藤田 拓司	9027	川崎 竜哉	9095	山本 幸司
2008	鈴木 俊一	4007	酒井 敏哉	6006	海老 広信	7022	松井 典文	9031	倉田 桂輔	9099	吉野 伸哉
2009	高杉 克明	4010	鈴木 崇広	6008	大塚 伸行	7023	三好 啓司	9034	古賀 智洋	9101	飯干 誉
2011	高谷 広美	4011	長井 隆浩	6009	勝田 靖史	7024	物部 隆広	9035	小坪 学	9105	甲斐 講文
2012	林 俊宏	4013	西潟 和夫	6010	門脇 幸浩	7027	吉持 和辰	9038	相良 賢一郎	9108	甲斐 竜輔
2014	東海林 隆	4016	間野 勇一	6011	小西 健次	8002	大北 順也	9041	城田 智和	9110	崎村 陽介
3003	稲見 真行	5001	泉 直哉	6013	瀬戸 隆司	8003	大西 達也	9043	高岡 真也	9113	伊達 眞吾
3004	岩崎 玄之	5003	上田 岳史	6015	竹森 敦志	8004	白川 太	9044	高岡 俊章	9116	橋本 博文
3005	大塚 達也	5004	宇城 暢人	6016	田中 行持	8005	高橋 潤也	9045	高田 秀人		
3006	大村 博幸	5005	白井 恵一	6022	長田 潤一	8006	竹内 譲	9047	高松 康浩		
3007	小野 和彦	5010	北村 昌幸	6025	羽子田 憲作	8008	西山 真人	9048	田崎 智		
3010	高 靖明	5014	小森 淳	6026	原 秀俊	8009	原田 学思	9049	田中 貴司		
3011	小林 元気	5015	佐渡 直司	6028	藤井 知子	8011	藤本 利一	9052	植田 真光		
3012	齋藤 博昭	5017	下嶋 イサム	6032	村上 淳	8012	森本 英男	9053	寺崎 敏		
3014	佐藤 修	5018	鈴木 治郎	6036	山本 忠之	8013	吉岡 孝之	9054	東條 武志		
3016	高梨 俊行	5022	柘植 保佳	6037	米村 泰明	9003	池田 祐真	9058	中島 清文		
3017	中川 健夫	5023	中島 弘貴	6038	井原 央人	9006	一政 敏春	9061	永廣 真一		
3019	中原 毅	5028	早川 秀夫	6040	田村 和行	9007	井上 伸晃	9064	奈須 盛司		
3020	沼宮内 信	5029	原 伸一郎	7001	井上 英昭	9013	上原 優	9066	成松 宏明		

# Ⅲ. 平成28年度版 日本アンカー協会出版物のお知らせ

## 平成28年度 日本アンカー協会 発行図書およびソフト

平成28年度には次のような協会出版物を発行しています。

詳細については、協会ホームページ (<http://www.japan-anchor.or.jp>) をご覧になり、ご購入ください。発行図書注文書は協会ホームページからダウンロードすることもできます。多くの皆様のお申込みをお待ちしています。

### 1. 「平成28年度版 グラウンドアンカー積算ガイドブック」

**新刊**

(平成28年4月)

協会独自の実態調査に基づき、新設編では、新設のグラウンドアンカーを施工するための歩掛り等を、わかりやすく解説。また、維持管理編では、既設のグラウンドアンカーについて維持管理するための歩掛り等を、点検・健全性調査・対策の各項目について、わかりやすく解説。

### 2. 「平成27・28年度版 グラウンドアンカー技術ガイドブック」

(平成27年4月)

グラウンドアンカーを施工するための方法及び手順を詳しく解説。各種アンカーの構造、各種材料の規格、形状寸法を掲載。「建設技術審査証明」及び「港湾関連民間技術の確認審査・評価」の概要を掲載。

### 3. 「グラウンドアンカー設計・施工基準, 同解説 (JGS4101-2012)」

(平成24年5月)

平成12年版の基準改定後、アンカーを取り巻く国内外の情勢を十分に考慮し、反映することに努め、アンカーの種別・防食構造・試験規格・維持管理等の項目について平成24年改訂。【地盤工学会】

### 4. 「グラウンドアンカー設計施工マニュアル」

(平成25年7月)

平成24年版の地盤工学会「グラウンドアンカー設計・施工基準」に準拠して、グラウンドアンカーを新設する際の調査・計画、材料、防食、設計、施工、試験等について、わかりやすく解説いたしました。既刊の「グラウンドアンカー維持管理マニュアル」と併用することで、高品質のアンカー施工に役立つことを期待しています。

### 5. 「グラウンドアンカー維持管理マニュアル」

(平成20年7月)

土木研究所との長年にわたる共同研究の成果を基にして、日常の維持管理を確実に実施するためのノウハウについて取りまとめたマニュアル。既設のグラウンドアンカーを長期にわたり健全な状態で利用するため、点検・健全性調査・対策を行うための考え方と手法について、わかりやすく解説。【鹿島出版会】

### 6. 「グラウンドアンカー受圧板設計・試験マニュアル」

(平成16年12月)

アンカーの設計施工の基準類に比して、アンカーの荷重を地表で受ける受圧板の設計法については、統一された基準がなく、その確立が待たれていました。本マニュアルは、中村浩之 東京農工大学教授 を委員長とする「委員会」において検討され、今後の受圧板の設計、グラウンドアンカー工法実施時の受圧板の検討に参考となることを期待しています。【土木研究センター】

### 7. 「グラウンドアンカー国際フォーラム2006」

(平成20年7月)

平成18年に東京で開催された、グラウンドアンカーをテーマとする国際フォーラムの全容をまとめた報告書。イギリス・アメリカ・ドイツ・日本からの提出論文をすべて掲載。

### 8. 「英国土木学会 グラウンドアンカー国際会議2007」

(平成20年7月)

平成19年にロンドンで開催された、グラウンドアンカーの維持管理をテーマとする国際会議の概要をまとめた報告書。日本アンカー協会からの提出論文を掲載。

### 9. 「グラウンドアンカー国際研究成果報告会」

(平成26年8月)

平成26年に東京で開催された、「アンカー工法の設計・施工の現状と展望」をテーマとする国際研究成果報告会の全容をまとめた報告書。グラウンドアンカーの新分野である“港湾構造物の耐震補強への適用”、“ダム施設の補修・補強への適用”等について、アメリカ・イギリス・日本からの提出論文をすべて掲載。

### 10. 「グラウンドアンカー試験管理ソフト」

(平成25年8月)

地盤工学会の新基準に対応した現場での確実な施行及び施工後のアンカーに対する各種の試験が適正に実施することができるように、アンカー施工の良否を判定するためのソフトを技術監修。



(一社) 日本アンカー協会 行 (FAX: 03-5214-1169)

## 発行図書注文書

太枠内をご記入ください。 受付 No. 申込日: 平成 年 月

発行図書名	価格(税込)	部数	金額
平成28年度版 グラウンドアンカー積算ガイドブック 《新刊》	一般価格: 1,512円	部	
	会員価格: 1,210円	部	
平成27・28年度版 グラウンドアンカー技術ガイドブック	一般価格: 2,160円	部	
	会員価格: 1,728円	部	
グラウンドアンカー設計・施工基準, 同解説 (JGS4101-2012) 【地盤工学会】	一般価格: 3,780円	部	
グラウンドアンカー設計施工マニュアル	一般価格: 4,860円	部	
	会員価格: 4,320円	部	
グラウンドアンカー維持管理マニュアル 【鹿島出版会】	一般価格: 3,240円	部	
グラウンドアンカー受圧板設計・試験マニュアル 【土木研究センター】	一般価格: 3,240円	部	
グラウンドアンカー国際フォーラム 2006	一般価格: 1,620円	部	
	会員価格: 1,296円	部	
英国土木学会 グラウンドアンカー国際会議 2007	一般価格: 1,620円	部	
	会員価格: 1,296円	部	
グラウンドアンカー国際研究成果報告会	一般価格: 2,160円	部	
	会員価格: 1,728円	部	
	送料		
	合計		

会社名	一般・正会員・賛助会員		
所属部署名	担当者様	印	
ご住所	〒		
TEL	FAX		
その他 ※ご指定・ご要望がありましたらご記入ください。	・納品書(要・不要), 見積書(要・不要) ・請求書の宛名指定( )		

※代金は後払いです。請求書の金額を翌月末までにお振込願います。

※送料・振込手数料は、お客様のご負担です。

&lt;お問い合わせ先&gt;

一般社団法人日本アンカー協会

TEL. 03(5214)1168 FAX. 03(5214)1169 <http://www.japan-anchor.or.jp/>

【入金先 振込口座】

三井住友銀行 神田支店 (普)6634789

一般社団法人 日本アンカー協会

(一社) 日本アンカー協会 行 (FAX: 03-5214-1169)

## ソフトウェア注文書 (協会員専用)

受付 No.

申込日: 平成 年 月 日

太枠内にご記入ください。

《ご注文について》 下記に必要事項ご記入の上、本紙を FAX にてお申し込み下さい。

製品名	会員特別価格 (税込)	ご注文数量
グラウンドアンカー試験管理ソフト	¥54,000-	

※ 製品は、五大開発(株)より送付いたします。請求書は製品に同封致します。

※ 翌月末日までに指定の銀行へ振込お願いします。振込手数料はお客様負担でお願いします。

※ 期間限定の会員特別価格は、平成28年3月末までで終了しました。

太枠内にご記入ください。

会社名	正会員・賛助会員		
所属部署名	担当者様	印	
ご住所	〒		
TEL	FAX		
その他	※ 請求書の宛名等のご指定・ご要望がありましたらご記入ください。 納品書(要・不要), 見積書(要・不要) 請求書の宛名指定( )		

※ ご記入頂いた個人情報は、製品の発送およびバージョンアップ、サポート情報等に利用致します。

詳しくは五大開発(株)ホームページのプライバシーポリシーをご覧ください。

## ＜お問い合わせ先＞

一般社団法人日本アンカー協会

TEL.03(5214)1168

FAX.03(5214)1169

## ■ 開発元 ■

五大開発株式会社

〒921-8051 石川県金沢市黒田1丁目35番地

ホームページ <http://www.godai.co.jp/>

協会記入欄

受付日		会員区分	正会員・賛助会員	確認	印
-----	--	------	----------	----	---



# IV. 連絡事項

## ●公益目的支出計画の実施完了

### 1) 一般社団法人への移行

平成20年12月1日に新公益法人制度3法（一般法，認定法，整備法）が施行されたのを受け，日本アンカー協会では，21年4月21日に監事3名を構成員とする「新公益法人制度検討会」を設置し，新公益法人制度への移行に向け，現状の把握及び課題への対応について検討を行いました。

検討会では，アンカー業界の団体として，組織面からは会員の共益を考慮した一般社団法人への移行を，税制面からは非営利型法人を目指すことが望ましいとの方針が示されました。

一般社団法人への移行については，23年6月8日の第13回通常総会において定款・会員規程の決議が行われた後，事務局において申請書類及び添付書類を作成し，24年1月20日に内閣総理大臣へ移行認可申請を行いました。その後，内閣府における審査に対して，事務局において資料説明・書類修正等を行いました。その間，6月6日の第14回通常総会において定款・会員規程の変更案の決議を行いました。

24年7月26日に内閣総理大臣より公益認定等委員会へ諮問が行われ，これに対して，8月3日に公益認定等委員会より内閣総理大臣へ答申が出され，当協会の一般社団法人への移行が認められました。

日本アンカー協会は，25年3月22日に内閣総理大臣より

移行認可処分書の交付を受け，直ちに，東京法務局への移行登記を行い，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づき，25年4月1日をもって「一般社団法人日本アンカー協会」に移行しました。

### 2) 公益目的支出計画の実施

移行直後，平成25年4月24日に行政庁（内閣府）及び旧主務官庁（国土交通省）へ移行登記完了の届出を行い，6月27日に行政庁へ公益目的財産額の確定の届出を行いました。

移行1年後の26年6月30日に行政庁（内閣府）へ公益目的支出計画実施報告書の提出を行い，移行2年後の27年6月29日に行政庁へ公益目的支出計画実施報告書の提出を行いました。

27年9月14日に内閣府公益目的認定等委員会事務局より，公益目的財産額が零となった公益目的支出計画実施報告書について修正なく認められ，実施完了確認請求書の提出を指示されました。このため，確認終了を待たず，9月28日に行政庁へ公益目的支出計画実施完了確認請求書の提出を行いました。その後，27年12月8日に内閣総理大臣より公益目的支出計画の実施完了の確認書の交付を受け，12月25日に処分が完了しました。

## 協会ホームページの「会員専用ページ」の利用方法

### 《利用方法》

会員専用ページの閲覧には，パスワードが必要です。パスワードを入力して，〔ログイン〕ボタンを押してください。

会員専用ページのメニュー画面が表示され，情報サービスを利用できます。

### 《サービスメニュー》

#### 1) ニュース

官公庁からの通知文書等を閲覧できます。

#### 2) 協会広報誌バックナンバー

これまで発行された日本アンカー協会の広報誌のバックナンバーを閲覧できます。

パスワード：jaa180201

## グラウンドアンカー施工士登録内容変更届

（一社）日本アンカー協会 行  
（FAX：03-5214-1169）

「グラウンドアンカー施工士登録者名簿」の内容について，訂正その他お気づきの点がありましたら，事務局までお知らせください。また，転勤等のご連絡をされる際には，必ず登録番号を付して下さるようお願いいたします。

ご連絡は事務局宛，下表に必要事項をご記入のうえ FAX にてお願いいたします。

登録番号	
氏名	
勤務先	
所属	
勤務先住所	〒 -
	TEL. ( )

お知らせ

平成 28 年 5 月 18 日

## 熊本大地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

一般社団法人日本アンカー協会では、平成 28 年 5 月 11 日に理事会を開催し「熊本大地震に係る災害応急対策」を決定するとともに、5 月 12 日に日本赤十字社へ熊本地震災害義援金として『50 万円』を寄附いたしました。

日本アンカー協会では、当面の災害応急対策とともに、今後の災害復興支援対策を順次実施してまいります。

### ◎「熊本大地震に係る災害応急対策」（平成 28 年 5 月 11 日理事会決定）

平成 28 年 4 月 16 日に発生した熊本県熊本地方を震源とする「熊本大地震」は、マグニチュード 7.3、震度 7、震源域は熊本県から大分県に及び、九州中部の広い範囲で激甚な被害が発生している。また、4 月 14 日の前震以降、熊本・大分両県で起きた震度 1 以上の地震は約 1400 回に達しており、現在まで継続している。

政府においては非常災害対策本部を設置し、“災害応急活動に総力を挙げて取り組んでいるところでありますが、災害応急対策のためには、建設機械、資機材の調達や労働力の確保など、建設業界等の全面的な協力が不可欠であります。つきましては、貴団体におかれましては、地方公共団体等と緊密な連携を図りながら、可能な限り被災地域の応急対策に取り組む”よう要請がなされている。

日本アンカー協会では、当面の災害応急対策を取りまとめるとともに、今後の災害復興支援対策を検討し、順次実施していきたい。

#### 1. 当面の災害応急対策

##### 1) 国、地方公共団体の要請等への対応

今後、想定される国、地方公共団体等からの様々な要請に対しては、建設機械、資機材の調達や人員確保などについて、可能な限り被災地域の復旧活動に協力する。

##### 2) 被災地の会員企業の会費の減免

今回の熊本大地震に遭遇され、被災された会員企業に対する会費の免除を行う。

- ・対象のエリアは、熊本県・大分県とする。
- ・平成 28 年度下半期会費の免除をおこなう。

##### 3) 被災地の地域住民の皆様への災害義援金の支出

日本アンカー協会の「グラウンドアンカー研究助成制度基金」より、熊本大地震の被災された地域住民に対する災害義援金を支出する。

- ・災害義援金は、50 万円とする。
- ・災害義援金の支出先は、会長が決定する。

#### 2. 今後の災害復興支援対策

##### 1) 被災地の「グラウンドアンカー施工士」への対応

今回の熊本大地震に遭遇され、被災された施工士に対する対応を検討する。

- ・対象者は、地震により認定証を紛失された施工士全員とする。
- ・認定証の再発行手数料を無料とする。





グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers in the first section.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers in the second section.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers in the third section.



グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registered ground anchor construction workers in the Kanto region, including entries for 久保茂靖, 橋本知和, 藤岡工, etc.

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registered ground anchor construction workers in the Kansai region, including entries for 越岡崇, 若原宏, 杉本雅, etc.

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registered ground anchor construction workers in the Chugoku and Shikoku regions, including entries for 細野知行, 野澤英, 東野剛, etc.

グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registration details for ground anchor construction workers in the first section.

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registration details for ground anchor construction workers in the second section.

Table with 3 columns: 登録番号 (Registration No.), 氏名 (Name), 勤務先 (Employer). Lists registration details for ground anchor construction workers in the third section.



グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 浅田信仁 and 澤井高博.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 守田圭介 and 三上隆央.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 水口周也 and 藤本幸一.

グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with 3 columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers.

Table with 3 columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers.

Table with 3 columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers.



グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Lists registered ground anchor construction technicians with their IDs, names, and employers.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Lists registered ground anchor construction technicians with their IDs, names, and employers.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Lists registered ground anchor construction technicians with their IDs, names, and employers.

グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 藤原 貴文 and 佐野 一郎.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 梶山 宏一 and 岸田 健太郎.

Table with columns: 登録番号, 氏名, 勤務先. Contains registration details for ground anchor construction workers, including names like 佐伯 拓弥 and 橋本 泰孝.



グラウンドアンカー施工士登録者名簿 (平成28年5月1日現在)

登録番号	氏名	勤務先
20150132	山田 達矢	(株)西條組
20130052	山田 佑佑	(有)伯建設
960004	山田 ショーン	(株)エーエス・ターエム
990202	渡邊 圭一郎	(有)湖珠興業
20110031	尾前 武雄	(株)末吉建設
20130037	園田 宗太	(株)成合建設
20140037	小林 諸苗	(有)大志産業
20060057	小池 隆一	(株)太伯建設
20110032	甲斐 直哉	(株)太伯建設
20110033	甲斐 要平	(株)太伯建設
20150083	寺崎 敏	(株)太伯建設
20150106	原田 健司	(株)太伯建設
20110066	鈴木 哲郎	(有)高蔵土木
20150094	奈須 盛宣	(有)高蔵土木
20120078	元水 宣一郎	(株)伊達組
20140080	中野 義文	(株)伊達組
20150031	伊藤 真吾	(株)伊達組
20150077	伊藤 穂穂	(株)伊達組
20120026	川田 穂穂	(株)伊達組
20060128	竹井 良盛	(株)東興
20150112	福川 崇成	(株)東興
20150040	福川 竜成	(株)東興
20020033	江口 鶴公一	(株)ニチボー
20140020	尾上 勇一	(株)ニチボー
20010145	成岡 弘二	(株)新興業
20010210	吉田 昭彦	(株)新興業
20080050	甲申 善隆	(株)新興業
20140032	黒田 義隆	(株)新興業
20150061	城田 智和	(株)新興業
990185	中原 義弘	(株)新興業
990190	池田 健	(株)新興業
20100018	植田 陽介	(株)光技術開発
20100092	権田 悟	(株)光技術開発
20110008	石井 美実	(株)光技術開発
20110132	矢野 美隆	(株)光技術開発
20140030	黒澤 朝保	(株)一ツ瀬建設
20130082	松澤 安彦	(株)藤永テック
20130098	吉原 泰一	(株)藤永テック
20010136	長友 弘生	(株)北部産業開発
20050062	河野 通巳	(株)北部産業開発
20150032	甲斐 佳佳	(株)松尾建設
20130099	吉本 佳史	(株)松尾建設
20010038	請岡 雅	(株)松尾建設
20080045	坂本 昭	(株)松尾建設
20080079	坂本 教	(株)松尾建設
20100137	矢野 憲重	(株)松尾建設
20110046	神口 重昭	(株)松尾建設
20110084	手嶋 勝昭	(株)松尾建設
20120097	渡邊 雄	(株)松尾建設
20110043	工藤 見	(株)三矢建設
20110097	奈須 健時	(株)三矢建設
20140017	三押川 明	(株)三宮本組
970135	黒崎 蜜	(株)明大工業
980275	矢野 宮崎	(株)メック宮崎
20060207	松下 勝仁	(株)メック宮崎
20110055	佐藤 秋仁	(株)八作建設
20110134	山下 良建	(株)八作建設
20060178	日高 規	(株)山崎産業
20150200	尾崎 剛	(株)山崎産業
20150003	飯内 隆	(株)大和開発
20130021	河内 武士	(株)大和開発
20070064	椎葉 伸義	(株)湯川建設
20120070	堀井 義	(株)湯川建設
20150028	尾崎 康	(株)湯川建設
20110061	洪谷 清文	(株)吉田建設
20120013	植田 康志	(株)吉田建設
20120088	山床 猛	(株)吉田建設
20140022	甲斐 泰	(株)吉原建設
20020042	大平 健朗	(株)吉原建設
20020079	谷名 家亮	(株)吉原建設
20020160	新名 亮文	(株)吉原建設
20030096	黒田 調	(株)吉原建設
20040092	河野 志郎	(株)吉原建設
20040192	田邊 博	(株)吉原建設
20150033	甲斐 電輔	(株)ホワイト工業
970125	岩切 昭一	(株)ホワイト工業
980328	矢野 拓美	(株)ホワイト工業
20030094	矢野 優	(株)ホワイト工業
20090015	倉部 貴志	(株)ホワイト工業
20120025	大部 幸治	(株)龍南建設
20120042	清水 真一	(株)龍南建設
鹿兒島県		
980316	貴島 正和	(株)アーステクノ
980317	吉武 志	(株)アーステクノ
20100114	住吉 幸年	(株)アーステクノ
20130101	若松 和幸	(株)アーステクノ
950014	横矢 久光	(株)アジアテック
970137	重信 浩	(株)アジアテック
20100078	英隆 一郎	(株)アジアテック
20100104	藤野 隆一	(株)アジアテック
20040267	町田 泰久	(株)今別府産業
20050012	池田 拓路	(株)今別府産業
20060135	田上 猛	(株)今別府産業
20070111	馬場 啓市	(株)今別府産業
20130085	的場 秀和	(株)今別府産業
980320	柳田 康彦	(株)ウエノ
20090002	集隆 志	(株)ウエノ
970155	松下 文巳	(株)カーネギー
980301	米盛 和也	(株)カーネギー
980329	峯田 不格	(株)カーネギー
990217	古川 徳幸	(株)カーネギー
990218	牧野 徳幸	(株)カーネギー
20000130	天野 政幸	(株)カーネギー
20010138	長野 政幸	(株)カーネギー
20030039	長野 政幸	(株)カーネギー
20030306	山崎 博一	(株)カーネギー
20040047	内村 聡	(株)カーネギー
20040278	溝上 智雄	(株)カーネギー
20050053	尾尾 英治	(株)カーネギー
20050092	坂元 義雄	(株)カーネギー
20060008	有蘭 憲英	(株)カーネギー
20060025	岩元 憲英	(株)カーネギー
20080012	清水 彰	(株)カーネギー
20100048	井上 伸	(株)カーネギー
20100111	日渡 卓	(株)カーネギー
20120067	川原 卓	(株)カーネギー
20110069	平野 圭一	(株)鹿島建設
20140131	安田 圭一	(株)鹿島建設
20000119	中田 圭一	(株)鹿島建設
20040167	園田 博	(株)キョーエイ
20040197	田畑 博	(株)キョーエイ
20090042	新地 順一	(株)キョーエイ
20100140	山口 順一	(株)キョーエイ

登録番号	氏名	勤務先
20150085	東條 武志	キョーエイエステック
20020023	藤田 大成	(株)熊建新築
20100109	肥後 隆	(株)熊建新築
20070041	川口 哲秀	(株)進和建設
20070103	永野 昌良	(株)進和建設
20150131	安山 和宏	(株)進和建設
950199	山田 洋一郎	(株)進和建設
970130	山田 洋一郎	(株)進和建設
20020026	門野 利之	(有)大成緑化工業
20110143	岩川 一男	(株)仲林建設
20010001	米相 俊弘	(株)仲林建設
20080123	米相 俊弘	(株)仲林建設
20130051	米森 瑞樹	(株)仲林建設
20140003	米森 瑞樹	(株)仲林建設
20090036	塚信 昭	(株)西本工業
20000132	富谷 昭	(株)西本工業
20120058	西別 辰彦	(株)日伸建設
20120086	山重 英隆	(株)日伸建設
20150021	大重 剛	(株)日伸建設
970156	松下 剛一	(株)日伸建設
980174	副島 俊宏	(株)日伸建設
20020219	本吉 宣一郎	(株)日本乾溜工業
20060217	本吉 宣一郎	(株)日本乾溜工業
20100096	野田 嘉洋	(株)日本乾溜工業
950019	山下 成好	(株)日本地下技術
20000114	山之内 和弘	(株)日本地下技術
20020020	井上 和弘	(株)日本地下技術
20020088	黒岩 孝雄	(株)日本地研
970122	市原 貴史	(株)日本地研
20150107	市原 貴史	(株)日本地研
20080116	山下 龍児	(株)林建設
20090078	松村 龍児	(株)林建設
20020153	中村 智幸	(株)ホウセイ
20030223	西村 信幸	(株)ホウセイ
970161	山下 俊安	(株)三竹工業
980259	福永 昇	(株)三竹工業
980319	松崎 勇二	(株)三竹工業
20060039	小田 英樹	(株)三竹工業
20060209	松田 健作	(株)三竹工業
20110118	前川 伸吾	(株)三竹工業
980302	前川 伸吾	(株)三竹工業
20000082	西郷 謙吾	(株)三竹工業
20040009	荒木 雅	(株)三竹工業
20000024	内村 雅樹	(株)三竹工業
20070022	内村 雅樹	(株)三竹工業
20100160	宝瀨 重勝	(株)三竹工業
20140100	平塚 重勝	(株)三竹工業
20140106	二本 樹徳	(株)三竹工業
20080098	古谷 康徳	(株)三竹工業
沖繩県		
970132	喜屋武 哲	(有)エスアイ・ケイ
980330	高実 勝裕	(有)エスアイ・ケイ
20070093	名嘉 裕人	(有)エスアイ・ケイ
980195	水田 慎二	(株)日特建設
980324	宮城 慎二	(株)日特建設
20030287	佐藤 雅雄	(株)日特建設
20140043	崎濱 秀隆	(株)日特建設
990206	嶺井 伸	(株)日特建設
20070009	石垣 哲也	(株)日特建設
20040002	安次 哲也	(株)日特建設
海外		
20040007	天野 淳二	三信建設工業
その他		
950073	佐々木 行雄	(株)三信建設工業
950205	藤井 圭一	(株)三信建設工業
960052	平川 弘	(株)三信建設工業
960180	古田 誠介	(株)三信建設工業
960181	熊原 俊一	(株)三信建設工業
970080	植生 芳弘	(株)三信建設工業
980010	高柳 聡	(株)三信建設工業
980078	高橋 貴美雄	(株)三信建設工業
980096	山口 剛	(株)三信建設工業
980209	河本 淳	(株)三信建設工業
990026	平 敏信	(株)三信建設工業
990098	安井 宏	(株)三信建設工業
990111	得能 陽市	(株)三信建設工業
20000087	坂口 哲	(株)三信建設工業
20000135	中津留 敏彦	(株)三信建設工業
20000167	平川 宏	(株)三信建設工業
20010062	片岡 清治	(株)三信建設工業
20010125	片岡 直吉	(株)三信建設工業
20010126	天白 直吉	(株)三信建設工業
20010185	三川 朋昭	(株)三信建設工業
20020002	青木 聖志	(株)三信建設工業
20020144	寺田 均	(株)三信建設工業
20020157	南雲 均	(株)三信建設工業
20030086	藤原 義成	(株)三信建設工業
20030265	藤原 義成	(株)三信建設工業
20030325	藤原 義成	(株)三信建設工業
20040012	藤原 義成	(株)三信建設工業
20040109	今別府 康夫	(株)三信建設工業
20040153	今別府 康夫	(株)三信建設工業
20040174	今別府 康夫	(株)三信建設工業
20040282	高宮 俊夫	(株)三信建設工業
20040313	高宮 俊夫	(株)三信建設工業
20040314	吉田 正之	(株)三信建設工業
20050072	吉田 正之	(株)三信建設工業
20050153	久田 薫	(株)三信建設工業
20050160	福井 伸	(株)三信建設工業
20060002	福井 伸	(株)三信建設工業
20060065	福井 伸	(株)三信建設工業
20060143	福井 伸	(株)三信建設工業
20060185	福井 伸	(株)三信建設工業
20060237	福井 伸	(株)三信建設工業
20070131	福井 伸	(株)三信建設工業
20080070	福井 伸	(株)三信建設工業
20080115	福井 伸	(株)三信建設工業
20090028	福井 伸	(株)三信建設工業
20090046	福井 伸	(株)三信建設工業
20100010	福井 伸	(株)三信建設工業
20110023	福井 伸	(株)三信建設工業

●都道府県別登録者数

都道府県名	登録者数(人)
北海道	90
青森県	110
岩手県	24
秋田県	24
山形県	27
福島県	15
東京都	320
茨城県	9
栃木県	6
群馬県	20
埼玉県	29
千葉県	15
神奈川県	32
梨川県	18
長野県	85
新潟県	121
富山県	37
石川県	73
愛知県	114
岐阜県	47
静岡県	49
三重県	106
大阪府	182
福井県	47
滋賀県	16
京都府	3
奈良県	13
和歌山県	38
兵庫県	32
鳥取県	110
島根県	83
岡山県	106
山口県	51
香川県	110
徳島県	43
愛媛県	51
高知県	40
福岡県	45
佐賀県	212
長崎県	18
熊本県	83
大分県	89
宮崎県	82
鹿児島県	115
鹿嶋県	90
沖縄県	10
海外	1
その他	48
合計	3113



# VI. 会員名簿

## 一般社団法人 日本アンカー協会会員名簿【正会員】

会社名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
アース工業(株)	730-0845	広島県	広島市中区舟入川口町21-21	082-291-4470
(株)アーステクノ	890-0072	鹿児島県	鹿児島市新栄町26-6	099-256-5167
(株)アイビック	370-2332	群馬県	富岡市下高瀬534	0274-63-1124
青葉工業(株)	760-0074	香川県	高松市桜町1-17-3	087-862-8222
青山機工(株)	364-0004	埼玉県	北本市山中2-45	048-591-9770
アサヒ工業(株)	690-0023	島根県	松江市竹矢町1343-1	0852-37-1077
アサヒ防災工事(株)	709-3401	岡山県	久米郡旭町北760	0867-27-3231
(株)飛鳥	165-0034	東京都	中野区大和町1-15-3	03-5373-1701
アズマ原総業(株)	321-0982	栃木県	宇都宮市御幸ヶ原町14-34	028-613-6288
アマノ企業(株)	729-0112	広島県	福山市神村町3106-6	0849-33-4704
石川防災(株)	929-1425	石川県	羽咋郡宝達志水町子浦ぬ3-3	0767-29-4647
(株)伊藤組	645-0302	和歌山県	日高郡竜神村大字甲斐ノ川496	0739-77-0035
稲葉建設(株)	516-1423	三重県	度会郡南伊勢町村山1111-1	0596-76-0393
イビデングリーンテック(株)	503-0021	岐阜県	大垣市河間町3-55	0584-81-6111
今岡工業(株)	693-0024	島根県	出雲市塩治神前2-8-16	0853-23-7778
(株)ウエノ	851-0121	長崎県	長崎市宿町163-6 ビーハイヴ1F	095-832-0222
浮田建設(株)	708-0022	岡山県	津山市山下5	0868-22-2151
(株)牛福久	452-0808	愛知県	名古屋市西区宝地町369	052-501-4711
(株)エイジ・アップ	173-0016	東京都	板橋区中板橋1-17	03-5375-0371
(株)大阪防水建設社	543-0016	大阪府	大阪市天王寺区餌差町7-6	06-6763-3506
(有)大塚建設	861-6551	熊本県	本渡市下浦町3380	0969-22-5435
(株)岡部	939-1901	富山県	東礪波郡平村祖山39	0763-66-2306
(株)沖田組	932-0314	富山県	東礪波郡庄川町青島696	0763-82-1103
奥山ボーリング(株)	013-0046	秋田県	横手市神明町10-39	0182-32-3475
小野田ケミコ(株)	101-0054	東京都	千代田区神田錦町3-21 JPRクレスト竹橋ビル	03-6386-7030
(株)角藤	381-0811	長野県	長野市東鶴賀町60	026-233-1055
河井建設工業(株)	708-1125	岡山県	津山市高野本郷2065-4	0868-26-3787
川田建設(株)	114-8505	東京都	北区滝野川6-3-1	03-3915-5467
技研興業(株)	166-0004	東京都	杉並区阿佐ヶ谷南3-7-2	03-3398-8500
キザイテクト(株)	451-0055	愛知県	名古屋市西区堀越2-3-20	052-521-6436
九州日植(株)	815-0082	福岡県	福岡市南区大楠3-12-28	092-526-0588
(株)九州緑化産業	813-0002	福岡県	福岡市東区下原4-16-36	092-682-0231
協栄地下工業(株)	759-4505	山口県	長門市油谷伊上26-1	0837-33-0050
(株)工藤興業	882-1411	宮崎県	西臼杵郡高千穂町大字上野1126	0982-77-1144
(株)グリーン・アート	940-0083	新潟県	長岡市官原1-2-5	0258-33-9115
グリーン産業(株)	950-0983	新潟県	新潟市中央区神道寺2-2-10	025-242-2711
黒沢建設(株)	163-0717	東京都	新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17F	03-6302-0221
ケミカルグラウト(株)	105-0001	東京都	港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館3F	03-5575-0511
鉦研工業(株)	171-8572	東京都	豊島区高田2-17-22 目白中野ビル1F	03-6907-7888
興信工業(株)	927-0624	石川県	鳳珠郡能登町字時長45字65	0768-72-1223
構造工事(株)	169-0072	東京都	新宿区大久保2-1-3 プラザ新大樹南棟401号	03-5291-0255
(株)興和	950-8565	新潟県	新潟市中央区新光町6-1	025-281-8814
国土防災技術(株)	105-0001	東京都	港区虎ノ門3-18-5	03-3432-3656
小代築炉工業(株)	879-2458	大分県	津久見市入船西町21-1	0972-82-4155
五大工業(株)	928-0034	石川県	輪島市長井町18字27番地	0768-22-6761
(株)コンノ土木	989-3124	宮城県	仙台市青葉区上愛子字車42-13	022-392-6158
坂本土木(株)	506-1131	岐阜県	飛騨市神岡町麻生野514-22	0578-82-1240
サクセス工業(株)	781-0303	高知県	高知市春野市弘岡下2025	088-894-6355
(株)佐野組	716-0101	岡山県	高梁市成羽町下日名38-4	0866-42-3318
三栄開発(株)	910-0036	福井県	福井市三郎丸町21-21-2	0776-23-1263
三信建設工業(株)	111-0052	東京都	台東区柳橋2-19-6 柳橋ファーストビル7F	03-5825-3700
(株)サンスパック	750-0008	山口県	下関市田中町15-7	0832-31-3434
(株)三友	747-8622	山口県	防府市駅南町9-43	0835-22-4588
山陽ロード工業(株)	708-1123	岡山県	津山市下高倉西1203-1	0868-22-6218
(株)サンワ	501-0619	岐阜県	揖斐郡揖斐川町三輪2526-2	0585-22-3197
(株)三和工務店	518-0227	三重県	伊賀市青山羽根1310-1	0595-52-1032
三和土質基礎(株)	063-0804	北海道	札幌市西区24軒4条5-11-10	011-642-9391

## 一般社団法人日本アンカー協会会員名簿【正会員】

会社名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
清水エンジニア(株)	518-0602	三重県	名張市東田原2639-1	0595-51-0912
新技術工営(株)	812-0888	福岡県	福岡市博多区板付4-7-28	092-588-8883
新日本グラウト工業(株)	815-0031	福岡県	福岡市南区清水1-15-18	092-511-8981
進和基礎工業(株)	121-0053	東京都	足立区佐野2-7-16	03-5913-8461
スリースロープ開発(株)	928-0003	石川県	輪島市塚田町2-14	0768-22-8280
西濃ボーリング工業(株)	501-0615	岐阜県	揖斐郡揖斐川町清水227	0585-22-0815
成和リニューアルワークス(株)	106-6013	東京都	港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー13F	03-3568-8555
(株)ソルテック	564-0063	大阪府	吹田市江坂町5-21-8	06-6384-2906
大栄開発(株)	857-1151	長崎県	佐世保市日宇町2690	0956-31-9358
第五工業(株)	640-8252	和歌山県	和歌山市北田辺丁5	073-436-3456
(株)ダイチ	957-0017	新潟県	新発田市新富町3-9-2	0254-24-1612
太洋基礎工業(株)	454-0871	愛知県	名古屋市中川区柳森町107	052-362-6351
(株)第四紀工営	532-0012	大阪府	大阪市淀川区木川東4-12-25	06-6306-2300
武巳建設(株)	806-0048	福岡県	北九州市八幡西区樋口町3-6	093-642-3323
田中建設(株)	034-0012	青森県	十和田市東一番町2-50	0176-23-3521
(株)タニガキ建工	640-1101	和歌山県	和歌山県海草郡紀美野町長谷391-6	073-489-6200
(株)谷測組	780-0985	高知県	高知市南久万29-2	088-802-1051
(株)丹勝	983-0035	宮城県	仙台市宮城野区日ノ出町3-3-32	022-235-0333
筑紫総合開発(株)	811-1223	福岡県	筑紫郡那珂川町大字上梶原1008-11	092-953-0669
地建興業(株)	448-0806	愛知県	刈谷市松栄町1-8-16	0556-21-0691
(株)地建防災	509-0123	岐阜県	各務原市鷺沼宝積寺町4-7	0583-84-9341
中部川崎(株)	950-0961	新潟県	新潟市中央区東出来島1-15	025-285-6441
中部地下開発(株)	920-0205	石川県	金沢市大浦町ハ51-1	076-237-5000
テクノ工業(株)	690-0025	鳥根県	松江市八幡町780-1	0852-37-2580
東亜グラウト工業(株)	160-0004	東京都	新宿区四谷2-10-3 TMSビル	03-3355-6200
(株)東海リアライズ	489-0937	愛知県	愛知県瀬戸市南菱野町507	0561-84-5577
東興ジオテック(株)	108-0014	東京都	港区芝4-8-2 TCGビル	03-3456-8761
東進産業(株)	514-0126	三重県	津市大里睦合町2597	059-230-1200
東邦地下工機(株)	812-0857	福岡県	福岡市博多区西月隈5-19-53	092-581-3031
東洋テクノ(株)	150-0012	東京都	渋谷区広尾5-4-12 大成鋼機ビル	03-3444-7383
(株)トーホー	651-1412	兵庫県	兵庫県西宮市山口町下山口962	078-904-1801
(株)ナイバ	760-0062	香川県	高松市塩上町1-3-6	087-862-5121
南建工業(株)	516-1309	三重県	度会郡南伊勢町東宮3108	0596-72-0251
(株)ニシスイ	861-4714	熊本県	下益城郡美里町安部743-1	0964-47-1765
(株)ニチポー	812-0888	福岡県	福岡市博多区板付4-7-28	092-591-3491
(株)日さく	330-0854	埼玉県	さいたま市大宮区桜木町4-199-3	048-644-3911
日新興業(株)	882-0812	宮崎県	延岡市本小路74	0982-33-2455
日特建設(株)	103-0004	東京都	中央区東日本橋3-10-6 平和日本橋ビル4F・5F・6F	03-5645-5050
日本乾溜工業(株)	812-0054	福岡県	福岡市東区馬出1-11-11	092-632-1003
日本基礎技術(株)	151-0072	東京都	渋谷区幡ヶ谷1-1-12 NKG東京ビル	03-5365-2500
日本建設技術(株)	847-1201	佐賀県	唐津市北波多徳須恵1417-1	0955-64-2525
日本植生(株)	708-8652	岡山県	津山市高尾573-1	0868-28-0251
日本総合防水(株)	171-0022	東京都	豊島区南池袋3-11-10 ペリエ池袋3F	03-5950-8211
日本地研(株)	816-0094	福岡県	福岡市博多区諸岡5-25-25	092-571-2764
能登建設(株)	927-1454	石川県	珠洲市三崎町宇治ヨ部129-1	0768-88-8800
(株)橋本組	519-3639	三重県	尾鷲市中川30-10	0597-22-7696
(株)東谷	755-0009	山口県	宇部市東見初町1-36	0836-21-1138
(株)飛研	506-0035	岐阜県	高山市新宮町3841番地の3	0577-35-0145
ひだ緑化土木(株)	506-0031	岐阜県	高山市西之一色町3-1758	0577-33-3553
(株)深沢工務所	409-3302	山梨県	南巨摩郡中富町手打沢1271	0556-42-2045
不二グラウト工業(株)	819-0001	福岡県	福岡市西区小戸3-50-20	092-892-0018
(株)扶桑エンジニアリング	848-0023	佐賀県	伊万里市大坪町丙2110-12	0955-22-4171
フリー工業(株)	110-0015	東京都	台東区東上野1-3-1	03-3831-8088
古一地下開発(株)	926-0044	石川県	七尾市相生町40	0767-52-4467
防災技建(株)	928-0032	石川県	輪島市小伊勢町上午房河原30-1	0768-22-3883
(株)ホクコク地水	921-8021	石川県	金沢市御影町25-1	076-241-7158
北陽建設(株)	398-0003	長野県	大町市大字社5377	0261-22-1155
北海道三祐(株)	002-0856	北海道	札幌市北区屯田6条8丁目9-12	011-773-5121
北海道日植(株)	001-0023	北海道	札幌市北区北23条西7-1-33 北海NISSHOKUビル3F	011-641-6201
(株)摩郷	927-0026	石川県	鳳珠郡穴水町大町の27	0768-52-0581
正木建設(株)	441-2317	愛知県	北設楽郡設楽町大字小松字マサノサワ46	05366-2-1251



一般社団法人 日本アンカー協会会員名簿【正会員】

会社名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
松尾工業(株)	719-3101	岡山県	真庭市赤野635-1	0867-52-5005
丸ス産業(株)	509-1113	岐阜県	加茂郡白川町三川1270	0574-72-1318
(株)丸山組	646-0005	和歌山県	田辺市秋津町1595-2	0739-22-2648
(株)水戸グリーンサービス	310-0903	茨城県	水戸市堀町959	029-225-2754
宮下建設(株)	927-2151	石川県	輪島市門前町走出3-50	0768-42-1138
ムサシ建設工業(株)	110-0015	東京都	台東区東上野1-24-2 山茂ビル3F	03-3835-3631
明大工業(株)	874-0922	大分県	別府市船小路町3-43	0977-24-1212
明和工業(株)	910-0826	福井県	福井市上中町26-36-1	0776-54-6665
(有)モアグリーン	928-0326	石川県	鳳珠郡能登町斉和の3	0768-76-0272
(株)森組	516-1108	三重県	伊勢市円座町1005	0596-39-1122
湯浅工業(株)	761-8032	香川県	高松市鶴市町2004-23	087-882-1840
ユウテック(株)	519-5711	三重県	南牟婁郡紀宝町井田2404-13	0735-32-1100
豊緑化技研(株)	470-0372	愛知県	豊田市井上町8-116	0565-45-0335
陽光建設(株)	982-0034	宮城県	仙台市太白区西多賀3-8-10	022-307-1066
吉原建設(株)	885-0032	宮崎県	都城市中原町32街区1号	0986-25-7000
ライト工業(株)	102-8236	東京都	千代田区九段北4-2-35	03-3265-2551
(株)ランドスケープ開発	927-0433	石川県	鳳珠郡能登町字宇出津ラ字155	0768-62-1331
(株)リターングリーン	921-8044	石川県	金沢市米泉町2-74-1	076-287-3562
(株)ロードマネージメント	921-8148	石川県	金沢市額新保3-152-6	076-296-8533
和興建設(株)	929-0214	石川県	白山市長屋町リ12	076-278-5678

《正会員総数138社》

一般社団法人 日本アンカー協会会員名簿【賛助会員】

会社名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
(合)アンカーアセットマネジメント研究会	514-0004	三重県	津市栄町2-418 (本社)	050-3634-5481
(株)エスイー	163-1343	東京都	新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー	03-3340-5510
エスエイチエステック(株)	108-0073	東京都	港区三田3-4-15-303	03-3456-4332
岡部(株)	131-8505	東京都	墨田区押上2-8-2	03-3624-5111
(株)ケー・エフ・シー	105-0011	東京都	港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館11F	03-6402-8250
K J S エンジニアリング(株)	198-0023	東京都	青梅市今井3-3-12	0428-32-3450
(株)ケーティービー	163-0717	東京都	新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル17F	03-6302-0242
弘和産業(株)	198-0023	東京都	青梅市今井3-3-12	0428-32-2811
(株)小財スチール	810-0022	福岡県	福岡市中央区薬院3-3-33	092-522-0002
五大開発(株)	921-8051	石川県	金沢市黒田1-35	050-3385-2991
サンスイ・ナビコ(株)	103-0025	東京都	中央区日本橋茅場町2-7-1 アソルティ日本橋茅場町2F	03-5623-3600
神鋼鋼線工業(株)	141-8688	東京都	品川区北品川5-9-12 ONビル7F	03-5739-5251
日鉄住金SGワイヤ(株)	100-0005	東京都	千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル11F	03-3214-4128
住友電工スチールワイヤー(株)	664-0016	兵庫県	伊丹市昆陽北1-1-1	072-772-2228
積水化学工業(株)	105-8450	東京都	港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門二丁目タワー	03-5521-0748
(株)セップ	533-0005	大阪府	大阪市東淀川区瑞光3-10-23	06-6327-1331
東京製綱(株)	103-8306	東京都	中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント	03-6636-7731
東陽商事(株)	114-0022	東京都	北区王子本町2-25-3	03-3906-8601
巴機械工業(株)	248-0027	神奈川県	鎌倉市笹田1-14-5	0467-39-1801
(株)南和	892-0848	鹿児島県	鹿児島市平之町8-29	099-224-0355
原工業(株)	115-0044	東京都	北区赤羽南2-13-8	03-3902-3431
ブイ・エス・エル・ジャパン(株)	160-0023	東京都	新宿区西新宿3-2-26 立花新宿ビル5F	03-3346-8913
藤原産業(株)	559-0016	大阪府	大阪市住之江区西加賀屋2-12-19	06-6683-6881
(株)フローリック	170-0013	東京都	豊島区東池袋1-10-1 住友池袋駅前ビル5F	03-5960-6911
守谷鋼機(株)	103-0028	東京都	中央区八重洲1-5-8 鳥居ビル6F	03-3271-9901
(株)和工	132-0025	東京都	江戸川区松江1-14-11	03-3656-5555

《賛助会員総数26社》

# グラウンドアンカー試験管理ソフト

本ソフトは、日本アンカー協会の監修により、開発されたソフトです。

地盤工学会発行の「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（平成24年）」に準拠し、グラウンドアンカー工の緊張管理図作成、基本調査試験・適性試験・確認試験の計画書、報告書の作成ができます。

降伏荷重や弾性係数などの参考値が登録済みで、テンドンの種別を選択するだけで簡単に入力ができます。報告書テンプレートを利用すれば、パソコン操作に不慣れな方でも一通りの書類が作成できます。

## ●すばやく簡単に入力ができる

- ページごとに順次データを入力するので、操作に迷うことなく入力ができます。
- アンカーの寸法は、試験アンカー略図を見ながら入力できます。
- アンカーデータが登録済み。もちろん追加登録も可能です。

## ●リアルタイムの図化が可能

- 測定値を入力すると、即座にグラフに表示されます。
- グラフを見ながら、データ入力ができますので、入力ミスの低減に役立ちます。
- 変位計の盛り返し測定に対応しています。

## ●アンカー緊張管理図が瞬時に作成

- クリープ係数、摩擦損失量が算出できます。
- 試験結果を入力するだけで、アンカー緊張管理図が作成できます。

〈作成グラフ〉

- 荷重-弾・塑性変位置量曲線図
- 荷重-変位置量曲線図
- 時間-荷重曲線図
- 時間-変位置量曲線図

## ●計画書から報告書までサポート

- 画面に従って順次入力するだけで、容易に書類作成（計画書と報告書）ができます。
- 計画書・報告書の文章が登録、編集できますので、次回の書類作りが簡単になります。

### ●使用手順

